2021 年 2 月 14 日「救援関西」発足29周年の集い

この時期ですが、「救援関西」発足２９周年の集いのご案内です。

閉じ込められた空間でいろんな思いを抱えているのは被災地も同じ。

ベラルーシ・ロシアからのメッセージが来ています

紙芝居に来てくれた浪江の岡さん・飯館の佐藤健太さん・古滝屋さん・郡山の野口さんたちも近況をよせてくれましたので、なんとか小規模でも集まりを持つことにしました。

不馴れなオンラインもします。オンライン参加のパスワードお伝えしますので以下にご連絡下さい。

チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西
〒591-8021 堺市北区新金岡町 1-3-15-102 猪又方
電話 0797-74-6091(田中), 072-253-4644(猪又)
e-mail: cherno-kansai@titan.ocn.ne.jp

「救援関西」発足29周年の集い

ヒロシマ・ナガサキ75年、ヒバクシャの思いをつなぐ

日時：２月１４日（日）14:00?16:00

場所：ドーンセンター セミナー室２

（京阪・地下鉄谷町線「天満橋」下車,東１番出口,東約 350m）

プログラム：

1. 事務局報告:
   ヒロシマ・ナガサキ 75 年から，チェルノブイリ 35 年・フクシマ 10 年に向けて
2. 長崎被爆者・山科和子さん[救援関西・代表]の体験と想い?ビデオ上映・資料紹介?
3. チェルノブイリとフクシマの友人の方々から?ビデオ・スライド・メッセージ?
4. 歌：アカリトバリさん（ライブまたはビデオ）
5. 質疑・アピール

昨年「被爆 75 年」はヒバクシャ＝核被害者とともに、ヒバクシャの人権・補償の確立、そして「核時代」の終わりをめざす私たちにとって、ヒロシマ・ナガサキの被爆者の方々の体験と運動を今後の取り組みに繋ぐための重要な節目でした。

残念ながら、１２月に予定していた「救援関西・発足の集い」は、コロナ感染拡大のため延期の判断を余儀なくされました。そして年明けに出された「緊急事態宣言」は、さらに一ヶ月延期されることとなりました。

私たちは、この重要な節目に「コロナ後」も見据えながら、コロナ禍の中でもできる取り組みを、皆さんと共に創意工夫を凝らして続けていきたいと考えています。

「発足の集い」は「救援関西」の総会に相当する大切な「場」ですので、「緊急事態宣言」延長の下ではありますが、コロナ感染対策を十分に行いながら、上記のとおり開催することに致しました。

会場参加だけでなく、オンライン（Zoom）参加もできるように準備しています。

オンライン参加をご希望の方は、２月１２日までに、上記のメールにご連絡下さい。

それぞれに「可能な形」で、ぜひご参加ください！

なお、会場参加の方は必ずマスクの着用をお願い致します。

また当日、体調が思わしくない方は、会場参加をご遠慮くださいませ。

どうぞ、よろしくお願い致します。